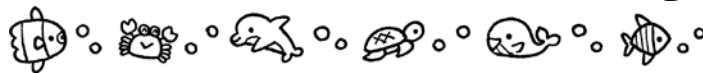


欲求を受け止められ

自己肯定感を育む



前月の末は雨や曇りの日が多く、お散歩にも出られるほど涼しい日がありました。かと思えば蝉の声が聞こえるほど暑い日もあり、なかなか安定しない気候でしたね。水遊びはほとんどできませんでしたが、かわりにお散歩では近所の方の家庭菜園に実ったトマトを見せて頂いたり、公園に咲いているひまわりを見つけたりと、夏ならではの景色を楽しむことができました。

さて、最近の0歳児さんたちは、少しずつお友達との関わりが増えてきているようです。隣同士で並んで座っているとき、「何をしているのかな？」と隣のお友達を覗き込んでいる姿をよく見かけるようになりました。お友達のしていることや持っている物に興味があるようで、時には玩具の引っ張り合いになることも。と言っても本人たちに取り合いをしている気はなく、「欲しいなあと思ったから取った」「取られたくないから持った」という行動の結果なのでしょう。しかし大人から見るとそのささやかな“ケンカ”が微笑ましく、またそれができるほど心が豊かに育まれていることが嬉しくもあります。

これからも「こうしたい」「これは嫌」など物事に対する気持ちがどんどん多様化していくため、時にはお友達と気持ちがぶつかったり、危険な行動につながるような欲求が出てきたりするかもしれません。やりたいことができた時ややってもらえた時「私ってできるんだ」「私は大切にされているんだ」と自分への自信が深まるものですので、できる限り欲求が満たされるようにしながら、してはいけないことや何故いけないのかなども少しずつわかってもらえればと

